WEEKLY 愛をもって行動し、実践しよう！ 週報 No. 2002

鹿児島中央ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和３年11月22日　第2029回例会

1977年1月10日創立

2021～2022年度 国際ロータリー会長　シェカール・メータ

●会　長　橋元　隆　●副会長　田中　和俊　●幹　事　下村　哲也　●編　集　広報・雑誌・IT委員会（公共イメージ）

四つのテスト　言行はこれに照らしてから ❶ 真実かどうか ❷ みんなに公平か ❸ 好意と友情を深めるか ❹ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム　ゲスト卓話「18歳町内会長の挑戦」 金子　陽飛 様

11月　ロータリー財団月間

前回例会出席率 76.19%

会長の時間

橋元　隆

本日は、創立45周年記念社会奉仕プロジェクト贈呈式であります。寄贈品は、空気清浄機で、寄贈先は本日お越しの４団体となっております。寄贈品と、寄贈先は先日会長の時間でも紹介いたしましたが、改めてご紹介させていただきます。寄贈品の空気清浄機は、NIKKISO の Aeropure（エアロピュア）という製品で、清浄化した空気を放出する為、乳幼児の近くでも安心して使用できます。高性能で深紫外線ＬＥＤを搭載し、除菌と消臭に優れていて、省エネ、長寿命、環境にやさしいという特徴があります。又、フィルター交換が要らず、手間がかからないというのも１つの特徴となっております。これらのことを踏まえ、皆様のアンケートを基に、理事会で慎重に検討して、４つの福祉施設を決定させて頂きました。

この後の贈呈式の際、４団体の皆様には５～６分程度でそれぞれの事業紹介をしていただく事になっておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

我中央RCから寄贈された空気清浄機、Aeropure（エアロピュア）が皆様方のお役に立てる事を祈念致しまして、会長の時間を終わりたいと思います

ロータリー財団フォーラム 創立45周年記念社会奉仕プロジェクト贈呈式

■ 鹿児島乳児院　院長　畑中　和子

鹿児島乳児院施設長の畑中和子でございます。

現在、コロナウイルス感染症も感染拡大が落ち着いておりますが、この２年程大変な状況が続き、世の中の皆様も私共の鹿児島乳児院も耐える日々が続いております。

どの様にして入所している子ども達を感染から守れるのか、日々苦慮致しております。

子ども達を思うように外出させることが出来ず、外部との接触なども配慮する日々の中、本当に緊張した日々を送っており、子ども達に、そのような日々を送らせていることを、私自身、辛く悲しく苦しい思いです。

その辛い日々の中でも、職員一人一人、気を緩めることなく意志をしっかりと持ち、一日一日を頑張っております。

そのような日々を送っている中で今回の空気清浄機の寄贈のお申し出をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。子ども達の生活の中で、早速大切につかわせていただき、さらに感染症対策をしっかりと行っていく所存でございます。

鹿児島乳児院職員一同を代表いたしまして、皆様の温かなお心遣いにお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■ やくし乳児院　院長　山里　千佳子

本日は、鹿児島中央ロータリークラブ様の例会にお招き頂き、大変光栄に存じます。またこの度、やくし乳児院に、高品質な空間除菌消臭装置を頂き誠にありがとうございます。

やくし乳児院には、現在０歳から２歳、17名の子ども達が入所しています。乳児院とは、ご

例会場 山形屋７Ｆ社交室　例会日 毎週月曜日　事務局 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL.099(223)9366・FAX.099(239)3504　メール kchuorc@bi.wakwak.com　ホームページ http://kagoshimachuo-rc.jp/

■ 11月1日の写真が掲載できませんでしたので、今回の週報に掲載致しました。

ベネファクター　中原　勲 君

会務報告

出席報告

誕生日お祝い

スマイル

卓話者紹介

結婚記念日お祝い

卓話ゲスト　月野　浩二様

スマイル・ボックス

●福山　泰広君／（先月いただいた誕生祝いのエピローグ）

RCでいただいた誕生祝いを当日朝、妻に渡しました。当日夜、私の払いで外食しました。いつあのお祝いが私の口に入るのやら。

11月15日のスマイル　小計 3,000円　2020～2021年度　累計 254,638円

第2028回例会記録　11月15日(月)

ロータリーソング：「我等の生業」
職業宣言唱和：５・６
ゲスト紹介：社会奉仕プロジェクト贈呈式出席者
　社会福祉法人　鶴陽会（かくようかい）
　鹿児島乳児院　院長　畑中　和子（はたなか　かずこ）様
　社会福祉法人　鹿児島市社会事業協会
　やくし乳児院　院長　山里　千佳子（やまさと　ちかこ）様
　かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク
　事務局　引地　渉（ひきち　わたる）様
　社会福祉法人麦の芽福祉会
　理事長　内田　芳夫（うちだ　よしお）様
　常任委員　山之内　龍（やまのうち　めぐみ）様
会長挨拶：会長　橋元　隆君
会務報告：幹事　下村　哲也君
１）本日の配布　①週報
２）ラウンドテーブルのご案内（11/10FAX 済み）
　11/29（月）18：30～　於：ごはんのじかん inatome
　　担当：ロータリー財団委員会
　出欠回答を 11/19(金）までに事務局へ FAX にてお願いいたします。
３）RCC 例会　11：00～　場所：リンクビル９階
　11/21(日）氏名出席者→川畑・坂元（次）　各会員
４）次週　11/22(月）例会プログラム
　ゲスト卓話　金子　陽飛（かねこ　はるひ）様
　　「18歳町内会長の挑戦」
出席報告：出席委員会
スマイルボックス：親睦委員会
創立45周年記念社会奉仕プロジェクト贈呈式
1. 会長挨拶
2. 目録贈呈
3. 受贈者挨拶

次回例会　令和３年 11 月 29 日（月）

会員増強フォーラム

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2028回例会	54名	32名	76.19%
前々回（11月1日）の補正	54名	31名	65.96%

本日の曲目：ノクターン、愛のあいさつ、メモリー　　演奏：入来慶子

家庭で育てることが困難な子ども達を養育する児童福祉施設です。入所の理由は、貧困による養育困難、保護者の育児能力欠如、保護者による虐待など、様々です。入所しております子ども達は、大体２歳を過ぎますと、家庭引き取りか児童養護施設への措置変更で乳児院を退所していきます。乳児院の職員が一番大切にしていることは、一人ひとりの子ども達が「自分は生まれてきてよかった」「自分を大切に思ってくれる人がいる」という気持ちをもってくれることです。そして家庭的雰囲気の中で、子ども達が安心して生活できるよう物的・人的環境を整えており、コロナ禍、今回、頂きました空間除菌消臭装置でより一層安心して生活できることを職員一同大変ありがたく思っています。保護者の面会も頻繁にあります。面会室にも設置し、心地よい環境の中で愛着関係の形成ができるのではないかと考えます。

ロータリークラブ様の綱領を拝見して、日々の活動に大変感銘を受けました。私たちも奉仕の気持ちを忘れずに日々の業務に就き、精進していきたいと思います。鹿児島中央ロータリークラブ様の益々のご発展を祈念してお礼の言葉とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございました。

■ かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク

代表　園田　愛美
代読　引地　渉

鹿児島中央ロータリークラブの皆さま、今期は創立 45 周年にあたるとお伺いいたしました。あらためまして、おめでとうございます。また、皆さまの多方面にわたる奉仕の心、活動につきまして畏敬の念に堪えません。

平素は、私ども「かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク」の活動にご関心を寄せていただきありがとうございます。またこのたびは、過分なご厚志を賜り、重ねて御礼申し上げます。こども食堂を運営する仲間で大切に使わせていただきたいと存じます。

さて、私ども　かごしまこども食堂・地域食堂ネットワークも 2018 年 6 月の設立以来、参加するこども食堂の数も増え、今日現在で 74 団体になりました。

こども食堂と聞くと、経済的に余裕のない家庭の利用するところというイメージをお持ちの方も、まだいらっしゃるかと思います。私ども、かごしまこども食堂・地域食堂ネットワークでは、かつての日本には普通にあった、お醤油やお砂糖を借りたり、おいしいおかずができたからおすそ分けをしたり、という「おたがいさま」のなかでの子育てを現代に・・・という意味も含めて、世代を超えてみんなが集まる場としてのこども食堂を目指して、日々活動しています。

全国で 5000 を超えるといわれ、広がりをみせるこども食堂ですが、地域の拠点、地域のコミュニティーを活性化する場としてその役割を広げてきているのが現状です。

とはいえ、昨今の新型コロナ感染症拡大の場面においては、活動が制限されていることも否めません。子どもたちとの対面においての会食を控え、お弁当配布をしたり食材のお届けをしたりと工夫を凝らしながら、地域との繋がりを続けているところです。活動はまさに今が正念場といったところです。

子どもたちを囲み、笑顔で温かいごはんがたべられる日を心待ちに、活動を続けていきたいと存じます。

さて、鹿児島中央ロータリークラブ様の本年度テーマは「愛をもって行動し、実践しよう！」と伺っています。このスローガンはまさに、こども食堂活動の理念とも大いに通ずるところがあると存じます。今後もクラブの皆さまのお住いの地域のこども食堂に遊びに行かれるなどして、私どもの活動を温かくお見守りください。

鹿児島中央ロータリークラブのますますのご発展と、会員各位のご健勝を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

■ 社会福祉法人麦の芽福祉会

理事長　内田　芳夫

皆さま、こんにちは。

私は、社会福祉法人麦の芽福祉会理事長の内田芳夫と申します。

はじめに、鹿児島中央ロータリークラブが 45 周年を迎え、この間、さまざまな社会貢献をされてこられましたことに敬意を表したいと思います。

さて、この度は、鹿児島中央ロータリークラブ 45 周年記念事業の一環としての社会奉仕プロジェクトから私たち、麦の芽福祉会に新型コロナウイルス対応設備（空気清浄機）を寄贈戴き感謝申し上げます。貴ロータリークラブ会員の宮崎銀行鹿児島営業部の西川義久様のご推薦により、頂戴することができましたことに重ねてお礼を申し上げます。頂戴しました空気清浄機の使用目的は、障害のある利用者のグループホームでの活用を考えております。現在７名のなかま（麦の芽福祉会では利用者を、なかまと呼んでいます）達が入居しているホームになりますが、みんなが集まる食卓に置きたいと思います。新型コロナ禍が完全収束していない中で、環境に優しく除菌に強い空気清浄機によって、なかま達が安心して日常生活を過ごすことができるよう活用して参ります。

鹿児島中央ロータリークラブのますますのご発展とクラブ会員の皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。